

おおさかしこうれいしゃじったいちょうさひょう 大阪市高齢者実態調査票

ほんにんちょうさ
(本人調査)

れいわ ねん がつ
令和7年7月

おおさかしふくしきょく こうれいしゃし さく ぶ こうれいふくし か
大阪市福祉局 高齢者施策部 高齢福祉課

この調査は、次のいずれかの方法で回答できます。

- ① パソコンやスマートフォン・タブレット端末を使って、回答専用サイトから回答
できます。回答専用サイトへのアクセスやログインから回答方法などについては、
1 ページでご確認ください。専用サイトから回答いただいた場合は、本調査票
(紙ベース) への記入と返送(ポスト投かん)は不要です。
- ② この調査票に直接記入・回答される場合は、4 ページをお読みいただき、質問
順にご回答ください。

※専用の回答ページにログインする際は、次のID・パスワードを入力してください。

◇ID

◇パスワード

* ID・パスワードは、回答専用画面に入るための認証キーです。

どの方にもどのID・パスワードを送付したのかは一切記録していませんので、
回答者個人を特定することはできません。

【調査についてのお問い合わせ先】

調査事務局(大阪市高齢者実態調査サポートセンター)

フリーダイヤル: 0120-782-964 (通話料無料)

受付時間: 月～金曜日(土曜日・日曜日・祝日除く)午前9時～午後5時





■WEB(インターネット)で回答する場合



- ① スマートフォン・タブレット端末の場合は、右の二次元バーコードをカメラで読み取ってください(携帯電話端末(いわゆるガラケー)は利用できません)。

※パソコンの場合は、次のURL(「https…」から始まるアドレス)を手入力し、エンターキーを押してください。

[URL] <https://src.webcas.net/form/pub/src2/k271004h>

- ② 次の画面が表示されたら、この調査票の表紙に印字されているIDとパスワードを入力し、「ログイン」ボタンを押し、回答ページに入ってください。

大阪市高齢者実態調査
(本人調査)

ログインID ※必須

① 表紙「ID」欄のk+5ケタの番号を入力
(半角で入力)

k00123

パスワード ※必須

② 表紙の「パスワード」を入力
(半角で入力)

Ab12

③ 「ID」「パスワード」を入力したら、「ログイン」を押す

ログイン

- ③ 回答ページに入ったら、質問の番号順に沿って回答してください。
(8月8日(金)までにご回答ください。)

※2ページの回答例を参照してください。

かいとうれい
【回答例】

問6 あなたは、日常生活全般で不安を感じていますか。（ひとつだけ）

☐ とても不安を感じる
☒ 多少不安を感じる
☐ 不安は感じない
☐ わからない

問6-1 あなたは、日常生活全般で不安に感じることはどのようなことですか。（いくつでも）

☒ あなたやご家族の健康のこと
☐ 急に具合（体調）が悪くなったりしたときのこと
☐ 自分自身やご家族が認知症になること
☐ 家事や軽作業などのこと（食事づくりやひとりでの買い物、掃除、洗濯など）
☒ 頼れる人がいなくなること
☐ 困りごとなど相談する相手がいないこと
☒ 預貯金の入出金や光熱費の支払いなど、日々のお金を管理すること
☐ 生活のための収入や預貯金が減少すること
☐ 地震や水害など災害に関すること
☐ その他

「戻る」ボタンで、1つ前のページに戻り回答を修正できます。

次へ

一時保存

あてはまる項目にチェックを入れてください。

次のページの質問に進むには「次へ」ボタンを押す。

◇回答途中で保存したい場合

- ① 回答ページの下にある「一時保存」ボタンを押す
- ② 画面に表示されているページをすべて閉じる（画面右上の図を押す）

※これで回答途中まで保存されています。

※保存期間は1週間です。その期間を過ぎると回答は消去されます。

◇回答を再開する場合

- ① この冊子1ページの①②の手順で専用の回答ページに入ってください。
- ② 画面に表示される「つづきから」ボタンを押してください。
- ③ 回答途中のページが表示されますので、回答を続けてください。

- ④ 最後の質問への回答が終わりましたら、画面下に表示されている「登録」ボタンを押してください。

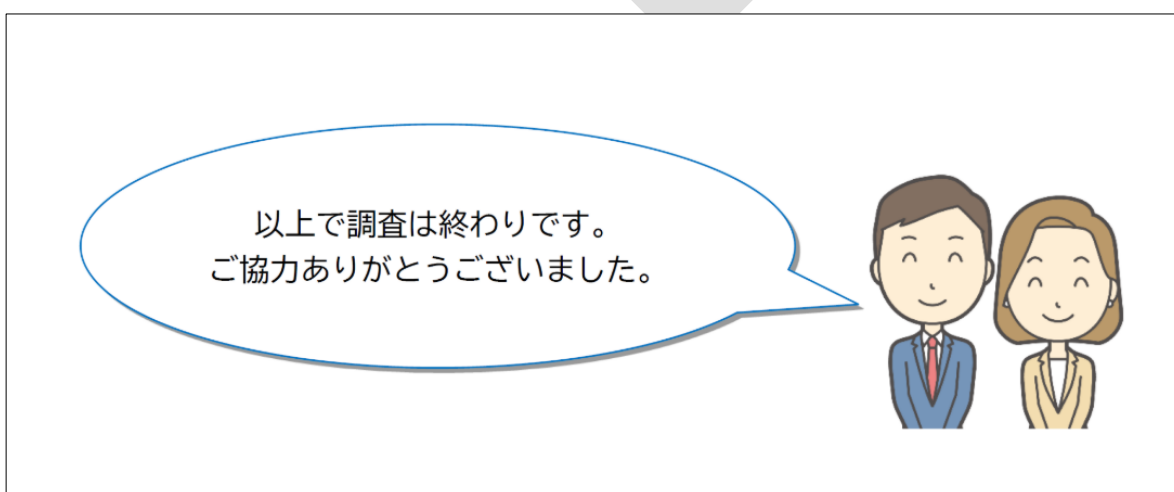
戻る

登録

一時保存

「登録」ボタンを押す。

- ⑤ 次の画面が表示されましたら、調査は終了です。



※1～3ページのWEB回答画面はイメージです。実際の表示とは異なる場合があります。

■ 調査票に直接記入・回答する場合

《ご記入にあたってのお願い》

- ◎ この調査は、記入日現在の状況でお答えください。また、筆記具は、鉛筆やボールペンなど、はっきりと書けるものをお使いください。
- ◎ ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、**8月8日(金)**までに郵便ポストに投かんしてください。
なお、調査票と返信用封筒にお名前をご記入いただく必要はございません。
- ◎ この調査は、あて名のご本人がお答えください。
ただし、ご本人が記入できない場合は、ご本人の状況を把握しているご家族の方などが記入してください。
- ◎ この調査の回答は、あてはまる番号に○をつけていただくものがほとんどです。
質問により、1つだけに○をつけていただくものと、複数○をつけていただくものがありますので、質問に従ってご回答ください。
また、「その他」に○をつけられた場合は、（ ）内になるべく具体的にその内容を記入してください。
- ◎ 答えにくい質問、答えたくない質問については、記入する必要はありません。
答えられる範囲でお答えください。

■ 調査の対象となっている方が何らかの事情により回答できない場合には、次のいずれかに○をつけて、同封の返信用封筒（切手不要）に入れてご返送ください。

- 1 ご本人の状況を把握している者がいない
- 2 転居
- 3 死亡
- 4 その他（ ）

上記以外の場合は、次のページからの質問にお答えください。

きにゅうしゃ
【記入者】

とい
問1

この調査票をご記入されるのはどなたですか。（○はひとつ）

- 1 ご本人 2 ご家族 3 その他（ ）

ほんにん じょうほう
【ご本人の情報】

とい
問2

あなた（あて名ご本人：以降の質問も同じ）の性別、年齢などについておうかがいします。

（1）あなたの性別をお答えください。（○はひとつ）

- 1 男性 2 女性 3 その他、または、答えたくない

（2）あなたの年齢をお答えください。（○はひとつ）

- 1 65～69歳 2 70～74歳 3 75～79歳
4 80～84歳 5 85～89歳 6 90歳以上

（3）あなたのお住まいの区はどちらですか。（○はひとつ）

- | | | | |
|---------|---------|---------|------------|
| 1 北区 | 2 都島区 | 3 福島区 | 4 このはなく此花区 |
| 5 中央区 | 6 西区 | 7 港区 | 8 大正区 |
| 9 天王寺区 | 10 浪速区 | 11 西淀川区 | 12 淀川区 |
| 13 東淀川区 | 14 東成区 | 15 生野区 | 16 旭区 |
| 17 城東区 | 18 鶴見区 | 19 阿倍野区 | 20 住之江区 |
| 21 住吉区 | 22 東住吉区 | 23 平野区 | 24 西成区 |

（4）あなたは、現在お住まいの区内に暮らし始めてどれくらい経ちますか。（○はひとつ）

- 1 1年未満 2 1～5年未満
3 5～10年未満 4 10～30年未満
5 30年以上 6 生まれてからずっと

問3

あなたと同居されている家族の状況についてお答えください。（○はひとつ）

- 1 単身（ひとり暮らし）.....→ 問4へお進みください
- 2 夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）
- 3 夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）
- 4 1～3以外の世帯で、全員65歳以上
- 5 その他の世帯（1～4以外の世帯）

問3で「2」～「5」と回答された方におうかがいします。

問3-1

同居している方が仕事などで外出し、昼間、家の中で、半日以上（6時間以上）ひとりになることがどのくらいありますか。（○はひとつ）

- 1 ひとりになることはほとんどない
- 2 週に1～2日程度
- 3 週に3～4日程度
- 4 週に5～6日程度
- 5 毎日



とい
問 4

あなたの介護保険の申請、認定 状 況 は、次のどれにあてはまりますか。
(○はひとつ)

(介護保険被保険者証をお持ちの方は、被保険者証の「要介護状 態区分等」の欄に認定
状 況 が記載されています。)

- | | |
|------------|-----------------------|
| 1 申請していない | 2 現在申請中である (結果がでていない) |
| 3 非該当 (自立) | 4 事業対象者※ |
| 5 要支援 1 | 6 要支援 2 |
| 7 要介護 1 | 8 要介護 2 |
| 9 要介護 3 | 10 要介護 4 |
| 11 要介護 5 | 12 わからない |

※『事業対象者』…基本チェックリストを実施し、サービス活動事業の対象者と判断
された方。

かいご ひつよう ばあい く かた
【介護が必要になった場合の暮らし方】

とい
問 5

あなたは、介護が必要になった場合、どのような暮らし方をしたいと思いますか。(○はひとつ)

- ご家族などの介護を受けながら、現在の住宅に住み続けたい
- 介護保険サービスの居宅介護サービスを受けながら、現在の住宅に住み続けたい
- 高齢者向けに配慮された住宅 (サービス付き高齢者向け住宅※など) に入居したい
- 特別養護老人ホーム※や介護老人保健施設※、介護医療院※などの施設に入所したい
- その他 ()
- わからない

※用語の説明は別紙参照

にちじょうせいかつ ふあん
【日常生活への不安】

とい
問6

あなたは、日常生活全般で不安を感じていますか。（○はひとつ）

- 1 とても不安を感じる
2 多少不安を感じる
3 不安は感じない 問7へお進みください
4 わからない

とい
問6

で「1 とても不安を感じる」「2 多少不安を感じる」と回答された方におうかがいします。

とい
問6-1

あなたは、日常生活全般で不安に感じることはどのようなことですか。（○はいくつでも）

- 1 あなたやご家族の健康のこと
2 急に具合（体調）が悪くなったりしたときのこと
3 自分自身やご家族が認知症になること
4 家事や軽作業などのこと（食事づくりやひとりでの買い物、掃除、洗濯など）
5 頼れる人がいなくなること
6 困りごとなど相談する相手がいらないこと
7 預貯金の入出金や光熱費の支払いなど、日々のお金を管理すること
8 生活のための収入や預貯金が減少すること
9 地震や水害など災害に関すること
10 その他（ ）

問6で「1 とても不安を感じる」「2 多少不安を感じる」と回答された方におうかがいします。

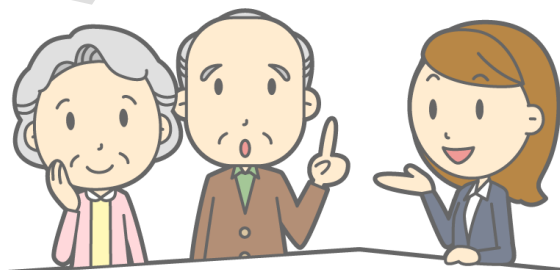
問6-2

日常生活全般で不安を感じた時、どこ（誰）に相談されますか。
（〇はいくつでも）

- 1 友人・知人
- 2 民生委員
- 3 地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ランチ）
- 4 区役所・保健福祉センター
- 5 こころの悩み電話相談
- 6 老人福祉センター
- 7 どこ（誰）にも相談しない
- 8 わからない
- 9 その他（ ）

高齢者福祉に関する相談窓口

- ・各区役所保健福祉課（平日9：00～17：30）
- ・お住まいの地域を担当する地域包括支援センター
（平日9：00～19：00 土曜日9：00～17：00）
- ・お住まいの地域を担当する総合相談窓口（ランチ）（平日9：00～17：30）
- ・こころの悩み電話相談 ☎06-6923-0936（平日9：30～17：00）
- ・各老人福祉センター（平日・土曜日10：00～17：00）



じょうほうつうしん き き りようじょうきよう
【情報通信機器の利用状況】

とい
問7

あなたが、情報収集や情報伝達のために、所有している情報通信機器を、すべてお答えください。（〇はいくつでも）

また、あなたが、ふだん利用しているものを、すべてお答えください。（〇はいくつでも）

	① しよゆう 所有している もの	② あなたが ふだん利用 しているもの
(1) テレビ	1	1
(2) ラジオ	2	2
(3) こていでんわ 固定電話	3	3
(4) ファックス	4	4
(5) けいたいでんわ 携帯電話（スマートフォンを除く）	5	5
(6) スマートフォン	6	6
(7) タブレット端末	7	7
(8) パソコン	8	8
(9) インターネット接続ゲーム機	9	9
(10) この中ではない	10	10



とい
問8

あなたは、^{じょうほうつうしん き き}情報通信機器を使って、どのようなことをされますか。あてはまるものをすべてあげてください。（○はいくつでも）

- 1 ^{こていでんわ}固定電話や^{かぞく ゆうじん}ファックスで家族・友人などと^{れんらく}連絡をとる
- 2 ^{しょう}パソコンを使用して^{でんし}電子メールで家族・友人などと^{れんらく}連絡をとる
- 3 ^{けいたいでんわ}携帯電話・スマートフォンで家族・友人などと^{れんらく}連絡をとる
（^{らいん}LINEや^{けいたいでんわ}携帯電話のメールを含む。）
- 4 ^{じょうほう}インターネットで^{あつ}情報を集めたり、ショッピングをする
- 5 ^{えすえぬえす}SNS（^{えつくす}X（^{きゅうつ いっ た}旧Twitter）、^{ふえいすぶつく}facebook、^{いんすたぐらむ}Instagramなど）を利用する
- 6 ^{つうわ}ビデオ通話（^{らいん}LINE、^{ずーむ}Zoomなど）を行う
- 7 ゲームをする
- 8 ^{か こ}ホームページやブログへの^{かいせつ}書き込みまたは^{こうしん}開設・更新をする
- 9 ^{きんゆうとりひき}ネットバンキングや^{しょうけん}金融取引（^{ほけんとりひき}証券・保険取引など）をする
- 10 ^{くに}国や^し市など^{ぎょうせい}行政の^{てつづ}手続きをインターネットで行う（^{おこな}電子政府・^{でんしせいふ}電子自治体）
- 11 ^{つか}いずれも使わない

^{いりよう そうだんさき}
【医療の相談先】

とい
問9

^{ざいたく}在宅で^{せいかつ}生活をしていて^{いりよう}医療が必要になった^{とき}時、どこに^{そうだん}相談されますか。
（○はいくつでも）

- | | |
|--|--|
| 1 ^{い し} かかりつけの医師 | 2 ^{し か い し} かかりつけの歯科医師 |
| 3 ^{やくざいし} かかりつけの薬剤師 | 4 ^{ほうもんかんご} 訪問看護ステーション |
| 5 ^{ち い き ほうかつし えん} 地域包括支援センター※ ^{そうごうそうだんまどぐち} または総合相談窓口（ブランチ）※ | |
| 6 ^{ホームヘルパー} | 7 ^{かいごし えんせんもんいん} 介護支援専門員（ケアマネジャー）※ |
| 8 ^{く やくしよ ほけんふくし} 区役所・保健福祉センター | 9 ^{かぞく しんぞく} ご家族・親族 |
| 10 ^{ゆうじん} 友人・ ^{ちじん} 知人 | 11 ^た その他（ ） |
| 12 わからない | |

^{ようご}※用語の^{せつめい}説明は^{べっしさんしやう}別紙参照

問10

あなたは、希望すれば在宅医療を受けられることを知っていますか。
(○はひとつ)

1 知っている

2 知らない

問11

次の項目それぞれについて「利用している」「利用していないが知っている」「知らない」のいずれか該当するものを番号で選んでください。(○はひとつずつ)

	利用している	利用していないが知っている	知らない
① 医師による訪問診療	1	2	3
② 歯科医師による訪問歯科診療	1	2	3
③ 薬剤師による訪問薬剤管理指導	1	2	3
④ 看護師などによる訪問看護	1	2	3
⑤ 緊急時に対応してくれる医師または医療機関	1	2	3
⑥ 緊急時に対応してくれる看護師または訪問看護	1	2	3

問12

あなたは、『人生会議（ACP）※』について知っていますか。(○はひとつ)

1 名前も内容も知っている

2 名前は知っているが、内容は知らない

3 名前も内容も知らない

※『人生会議』…ACP（アドバンス・ケア・プランニング）自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて、意思決定ができない時のために、前もって考え、医療・ケアチーム等と繰り返し話し合い共有する取り組み。

まんいち　　なお　　み　　こ　　びょうき　　ばあい　　じんせい　　さいしゅうだんかい　　す
万一、あなたが治る見込みのない病気になった場合、人生の最終段階をどこで過
ごしたいですか。なお、　ひつよう　　いりよう　　ばしょ　　う
必要な医療については、それぞれの場所で受けることが
できるものとしてお答えください。（○はひとつ）

- 1 自宅じたく
- 2 こどもの家や親族の家いえ しんぞく いえ
- 3 高齢者向け住宅こうれいしゃ む じゅうたく
- 4 特別養護老人ホームや介護付き有料老人ホーム※などの介護施設とくべつようごろうじん か い ご つ ゆうりょうろうじん か い ご し せ つ
- 5 介護医療院など、病院内に併設される「住まい」の機能を重視した施設かい ご い りょういん びょういんない へいせつ す き の う じゅうし し せ つ
- 6 病院などの医療機関びょういん いりょうき かん
- 7 その他（た
- 8 わからない

※用語の説明は別紙参照



【人生の最終段階についての話し合いの有無】

とい
問14

問13の人生の最終段階の過ごし方について、誰かと話し合ったことがありますか。（○はひとつ）

1 はい

2 いいえ → とい すす 問15 へお進みください

とい 問14 で「1 はい」と回答された方におうかがいします。

とい
問14-1

だれ はな あ 誰と話し合われましたか。（○はいくつでも）

1 かぞく しんぞく
ご家族・親族

2 ゆうじん ちじん
友人・知人

3 かかりつけのいし
医師

4 かいごしえんせんもんいん
介護支援専門員（ケアマネジャー）

5 その他（ ）

とい 問14 で「1 はい」と回答された方におうかがいします。

とい
問14-2

き ないよう ぶんしょ きざい きょうゆう
決めた内容を文書に記載するなど共有できるようにしていますか。
（○はひとつ）

1 はい

2 いいえ



とい
問15

あなたは「認知症※」という病気を知っていますか。（○はひとつ）

- 1 原因となる病気や症状などについてだいたいわかる
- 2 言葉は聞いたことがあるが、原因となる病気や症状などについてはわからない
- 3 わからない

※『認知症』…様々な病気により、脳の神経細胞の働きが徐々に変化し、認知機能（記憶、判断力など）が低下して、社会生活に差しさわりがある状態。

とい
問16

あなたは『共生社会の実現を推進するための認知症基本法※』を知っていますか。（○はひとつ）

- 1 名称も内容も知っている
- 2 名称は知っているが、内容は知らない
- 3 名称も内容も知らない

※『共生社会の実現を推進するための認知症基本法』

…認知症の本人が尊厳を保持しつつ希望をもって暮らすことができるよう、認知症施策を総合的かつ計画的に推進し、共生社会の実現を推進することを目的として令和6年1月に施行された。

はんぶん
あと半分です！



とい
問17

あなたは、^{にんちしょう ひと しえん ひつよう なん おも}認知症の人の支援に必要なことは何だと思いますか。
(○はいくつでも)

- 1 ^{にんちしょう かん そうだんまどぐち じゅうじつ} 認知症に関する相談窓口の充実
- 2 ^{にんちしょう そう きはっけん とりく} 認知症の早期発見への取組み
- 3 ^{びょういん い し にんちしょう かん いりよう じゅうじつ} 病院やかかりつけの医師における、認知症に関する医療サービスの充実
- 4 ^{かぞく ちいき ひと しょくば にんちしょう りかい ふか} ご家族や地域の人、職場などでの認知症についての理解が深まること
- 5 ^{かい ごしょくいん おこな にんちしょう しつ こうじょう} 介護職員が行う認知症ケアの質の向上
- 6 ^{にんちしょう ひと かいご かぞく たい しえん} 認知症の人を介護するご家族に対する支援
- 7 ^{にんちしょう かん かいごほけん ふくし じゅうじつ} 認知症に関する介護保険サービスや福祉サービスの充実
- 8 ^{にんちしょう ひとみずか しゃかい なか やくわり え かつやく ば かくほ} 認知症の人自らが社会の中で役割を得て活動する場の確保
- 9 ^{にんちしょう ひと かぞく きがる た よ つど ば にんちしょう など じゅうじつ} 認知症の人やその家族が気軽に立ち寄ることができる集いの場（認知症カフェ等）の充実
- 10 ^{にんちしょう よぼう にんちしょう おく にんちしょう しんこう ゆる} 認知症予防（認知症になるのを遅らせる、認知症になっても進行を緩やかにするという意味）に関する取組みの充実
- 11 ^{にんちしょう ひと たい ぎゃくたいぼうし ほんにん ざいさん まも しょうひしゃひがい ぼうしなど けんりようご かん しえん} 認知症の人に対する虐待防止や本人の財産を守る（消費者被害の防止等）などの権利擁護に関する支援
- 12 ^た その他（ ）
- 13 わからない

こりっし
【孤立死について】

とい
問18 あなたは、^{こりっし}孤立死についてどのように^{かんが}考えますか。（○はひとつ）

1 ^{みちか}身近に^{かん}感じる

2 ^{みちか}やや身近に^{かん}感じる

3 ^{みちか}あまり身近に^{かん}感じない

4 ^{みちか}身近に^{かん}感じない

5 わからない

→ ^{とい}問19 ^{すす}へお進みください

とい
問18 で「1 ^{みちか}身近に^{かん}感じる」「2 ^{みちか}やや身近に^{かん}感じる」と回答された方におうかがいします。

とい
問18-1 あなたが^{みちか}身近だと感じる理由^{かん りゆう つぎ}は次のどれにあたりますか。
（○はいくつでも）

1 ^{しんぞく}親族との付き合いが^{つ あ}少ないから^{すく}

2 ^{きんじょ}近所との付き合いが^{つ あ}少ないから^{すく}

3 ^{ゆうじん}友人との付き合いが^{つ あ}少ないから^{すく}

4 ^{がいしゅつ}あまり外出しないから

5 ^{びょうき}病気がちで、^{けんこう}健康に^{ふ あん}不安があるから

6 その他（ ）

7 ^{とく りゆう}特に理由はない



さいがい じ きんきゅう じ ひなん
【災害時・緊急時の避難】

とい 問19 あなたは、さいがい じ きんきゅう じ ひなん
災害時や緊急時にひとりで避難することができますか。（○はひとつ）

1 ひとりで避難できる → とい 問20 へお進みください

2 ひとりでは避難できない

3 わからない

とい 問19 で「2 ひとりでは避難できない」「3 わからない」と回答された方におうかがいします。

とい 問19-1 あなたは、さいがい じ きんきゅう じ て だす たの ひと どうきよしゃ ふく
災害時や緊急時に、手助けを頼める人（同居者を含む）はいますか。
（○はひとつ）

1 常時いる

2 時間帯によってはいる

3 いない

4 わからない

さいがい じ しんぱい ごと
【災害時の心配事】

とい 問20 あなたは、さいがい じ お と き しんぱい ごと
災害が起きた時の心配事がありますか。（○はいくつでも）

1 ひなん じょうほう
避難情報がわからない

2 ひなん じょ とお
避難所が遠い

3 しんすい おそ
浸水の恐れなどがある

4 いえ とうかい おそ
家が倒壊の恐れがある

5 どうきよ かぞく うご
同居のご家族が動けない

6 ひなん じょ いどうしゅ だん
避難所までの移動手段がない

7 ひなん ばしょ
避難場所がわからない

8 わからない

9 その他（ ）

10 しんぱい ごと とく
心配事は特にない

【^{ちいきはくはくしえん}地域包括支援センター・^{そうこうそうたんにまごころ}総合相談窓口（^{りようしやうぎよう}ランチ）の^{まんてく}利用状況・満足度】

ちいきほうかつしえん

そうごうそうだんまどぐち

りょう

- 21ページの問22へ
すす
お進みください

りょう

かいとう

かた

ちいきほうかつしえん

そうごうそうだんまどぐち

あなた

括支

「空炎」

) 在

うに

して知りましたか。主なものをひとつ選んでお答えください。（〇はひとつ）

- 1 区役所・保健福祉センターから聞いた
- 2 介護支援専門員（ケアマネジャー）・ホームヘルパー・施設職員などから聞いた
- 3 かかりつけの医師や病院など医療機関から聞いた
- 4 民生委員・町会などの地域役員から聞いた
- 5 ご家族・友人、知人から聞いた
- 6 パンフレットや資料から知った
- 7 インターネットを通じて知った
- 8 その他（ ）



問21で「1 利用したことがある」と回答された方におうかがいします。

問21-2

あなたが、地域包括支援センターまたは総合相談窓口（ランチ）を利用（相談）された目的について、次の1～9に○をつけてください。（○はいくつでも）また、その時の満足度についてあてはまるものに○をつけてください。

A. 利用（相談）された目的		B. 相談したときの満足度 （1～4のいずれかに○）			
		満足	やや満足	やや不満	不満
1	介護や日常生活の困りごと （介護保険制度、ご家族の介護など）	1	2	3	4
2	もの忘れ、認知症について	1	2	3	4
3	高齢者虐待について	1	2	3	4
4	成年後見制度※について	1	2	3	4
5	要支援1、要支援2の認定を受けた後のサービス利用について	1	2	3	4
6	介護予防※について	1	2	3	4
7	保健、医療サービスや制度について	1	2	3	4
8	一緒に活動したことがある （研修、高齢者の見守り活動など）	1	2	3	4
9	その他（ ）	1	2	3	4

該当する番号にすべて○をしてください。

※『成年後見制度』…認知症や知的障がい、精神障がいなどで判断能力が十分でない方を保護、支援するために、法的に権限を与えられた後見人等が本人の意思を尊重しながら生活状況や身体状況等を考慮して、本人の生活や財産を守る制度。

※『介護予防』…介護が必要な状態になることをできる限り予防し、自立した自分らしい生活を送り、年齢を重ねても、いきいきと生きがいをもって暮らすための取り組み。

こうれいしゃぎゃくたい そうだんさき
【高齢者虐待の相談先】

とい
問22

あなたは、あなた^{また}又はあなたの^{しゅうい}周囲の^{こうれいしゃ}高齢者が^{みぢか}身近な人からの^{ぼうりよく}暴力や^{ぼうげん}暴言、^{しんたい}身体
拘束や^{こうそく}閉じ込め、^{かいご}介護や^{せわ}世話の^{ほうき}放棄、^{ねんきん}年金の^{つか}使い込みといった「^{こうれいしゃぎゃくたい}高齢者虐待」を
受けた^う場合の^{ばあい}通報・^{つうほう}相談先を^{そうだんさき}ご存じですか。^{ぞん}（○はひとつ）

1 ^し知っている

2 ^し知らない

じょうき こうま そうだん
上記のようなことでの^{こま}お困りごとや^{そうだん}ご相談は

- かくくやくしよほけんふくしか ^{へいじつ}
・各^{かく}区^く役^{やく}所^{しよ}保^ほ健^{けん}福^ふ祉^{しか}課^か（^{へいじつ}平日9：00～17：30）
- ^すお^{ちいき}住^{たんとう}まいの^{ちいき}地^{ほうかつしえん}域^{せん}を^{ちいき}担^{たん}当^{とう}する^{ちいき}地^{ほうかつしえん}域^{せん}包^{ほう}括^{かつ}支^し援^{えん}セ^{せん}ン^{てん}タ^たー
（^{へいじつ}平日9：00～19：00 ^{どようび}土^ど曜^{よう}日^び9：00～17：00）
- ^すお^{ちいき}住^{たんとう}まいの^{ちいき}地^{ほうかつしえん}域^{せん}を^{ちいき}担^{たん}当^{とう}する^{ちいき}総^{そう}合^{ごう}相^{そう}談^{だん}窓^{まど}口^{ぐち}（^{へいじつ}ブ^{らん}チ^ち）（^{へいじつ}平日9：00～17：30）
- ^{おおさかしきゅうじつやかんしょう}大^{しや}阪^{こうれいしゃぎゃくたい}市^{がい}休^{がい}日^{がい}夜^{がい}間^{がい}障^{がい}が^{がい}い^{がい}者^{がい}・^{しや}高^{こう}齢^{れい}者^{がい}虐^{ぎゃく}待^{たい}ホ^うッ^うト^{つけ}ラ^{つけ}イ^{つけ}ン^{つけ}
☎06-6206-3725（^{じょうきがい}上^{じかんたい}記^{うけつけ}以^{うけつけ}外^{うけつけ}の^{うけつけ}時^{うけつけ}間^{うけつけ}帯^{うけつけ}で^{うけつけ}の^{うけつけ}受^{うけつけ}付^{うけつけ}）

しょうひしゃひがい けいけん
【消費者被害の経験】

とい
問23

あなたは、これまでに^{しょうひしゃひがい}消費者被害にあつたことや、あいそうになったことはあり
ますか。（○はひとつ）

1 ある

2 ない



とくべつようごろうじん にゅうしゅいこう
【特別養護老人ホーム入所意向】

とい
問24

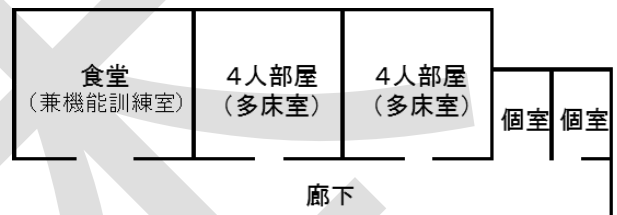
あなたは、特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）に入所することになった場合、どちらの施設に入りたいと思われますか。（○はひとつ）

- 1 多床室の特別養護老人ホーム
- 2 ユニット型個室の特別養護老人ホーム
- 3 どちらでもよい

きょしつ
【居室イメージ】

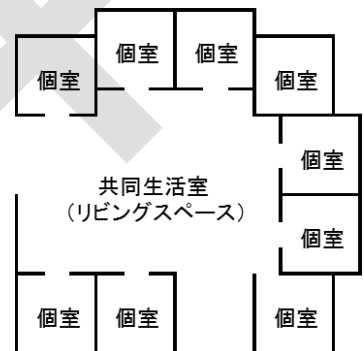
- 1 多床室の特別養護老人ホーム

4人部屋（多床室）を基本として、おおむね30人から50人程度の集団生活を営みながら、食事、入浴、排泄などの日常生活において必要介護を提供します。



- 2 ユニット型個室の特別養護老人ホーム

多床室より居住費が少し高くなりますが、すべて個室で、おおむね10人程度の少人数を生活単位として、居間・食堂などの共有スペースを設け、個々の生活リズムに配慮した介護を提供します。



とくべつようごろうじん せいび かいごほけんりょう
【特別養護老人ホームの整備と介護保険料】

とい
問25

特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）の整備についておたずねします。

令和7年7月1日現在、特別養護老人ホームは14,803人分整備されており、必要性・緊急性の高い入所申込者が概ね1年以内に入所できている状況になっています。特別養護老人ホームの整備が進めば、在宅よりも施設の方が介護サービス費用が高く、介護保険料にも影響します。あなたは、今後の整備についてどうと思われますか。（○はひとつ）

- 1 介護保険料がある程度高くなっても、今後も特別養護老人ホームを増やす必要があると思う
- 2 特別養護老人ホームをこれ以上増やす必要はないと思う
- 3 わからない

とい
問26

かいごほけん じゅうじつ すす かいごほけんりょう こうがく
介護保険サービスの充実が進めば、介護保険料が高額になっていきますが、あ
なたは、今後の介護保険サービスについてどうおもうわれますか。（○はひとつ）

- 1 かいごほけんりょう たか かいごほけん じゅうじつ ひつよう
介護保険料がもっと高くなっても、介護保険サービスを充実させる必要があると
おもう
- 2 かいごほけんりょう たか こま かいごほけん じゅうじつ ひつよう
介護保険料が高くなるのは困るが、介護保険サービスを充実させる必要があると
おもう
- 3 かいごほけんりょう たか かいごほけん いじょうじゅうじつ ひつよう
介護保険料が高くなるなら、介護保険サービスをこれ以上充実させる必要はない
おもう
- 4 かいごほけんりょう さ かいごほけん りょう てきせいか ひつよう おも
介護保険料を下げるために、介護保険サービス利用の適正化が必要だと思ふ
- 5 わからない

かいごほけん りょう おも せつめい べっしさんしょう
※介護保険で利用できる主なサービスの説明は別紙参照

とい
問27

かいごほけんりょう じょうしょう よくせい とりくみ ひつよう おも
介護保険料の上昇を抑制するために、どのような取組が必要だと思われま
すか。（○はひとつ）

- 1 かいごほけん りょう へ かいご ひつよう じょうたい よぼう
介護保険サービスの利用を減らすために、介護が必要な状態にならないよう予防
する
- 2 ようかいごにんてい しんさ げんかくか
要介護認定の審査をさらに厳格化する
- 3 りょうしゃ しん ひつよう かふそく りょう けいはつ
利用者が真に必要なとする過不足のないサービス利用をするように啓発する
- 4 かいごほけん じぎょうしょ たい うんえいしどう じっし
介護保険サービス事業所に対する運営指導をもっと実施する
- 5 かいごほけん いがい ざいたくかいご しえん じゅうじつ
介護保険サービス以外で、在宅介護の支援をもっと充実させる
- 6 わからない

問い
問28

つぎ しせつ じぎょう りようじょうきょう いこう こた
次の施設や事業について、あなたの利用状況や意向をお答えください。
(○はそれぞれひとつずつ)

		利用あり りようあり	知っているが りよう 利用なし		知らない し らない
			今後利用したい こんごりよう したい	利用したくない りよう したくない	
いきがい	①敬老優待乗車証 けいろうゆうたいじょうしゃしょう	1	2	3	4
	②介護予防ポイント事業 かいごよぼう じぎょう	1	2	3	4
	③シルバー人材センター じんざい	1	2	3	4
	④高齢者入浴割引事業 こうれいしゃにゆうよくわりびきじぎょう	1	2	3	4
	⑤就労的活動支援事業 しゅうろうてきかつどう しえん じぎょう (無償のボランティア活動や有償の市民活動) むしょう かつどう ゆうしょう しみんかつどう	1	2	3	4
	⑥生涯学習センター、生涯学習ルーム事業 しょうがいがくしゅう しょうがいがくしゅう じぎょう	1	2	3	4
	⑦市立文化施設等敬老優待 しりつぶんかしせつなどけいろうゆうたい	1	2	3	4
	⑧市立スポーツ施設の高齢者割引 しりつ しせつ こうれいしゃわりびき	1	2	3	4
安心安全 あんしんあんぜん	⑨緊急通報システム事業(固定型) きんきゅうつうほう じぎょう こていがた	1	2	3	4
	⑩緊急通報システム事業(携帯型) きんきゅうつうほう じぎょう けいたいがた	1	2	3	4
	⑪安否確認のある食事サービス事業 あんびかくにん しょくじ じぎょう	1	2	3	4
	⑫日常生活用具給付事業 にちじょうせいかつようぐきゅうふじぎょう	1	2	3	4
	⑬ごみの持ち出しサービス も だ	1	2	3	4
	⑭認知症高齢者見守りメール にんちしょうこうれいしゃみまも	1	2	3	4
	⑮認知症高齢者位置情報探索事業(GPS) にんちしょうこうれいしゃ いちじょうほうたんさくじぎょう じーびーえす	1	2	3	4
	⑯見守り相談室による地域の見守り活動の支援 みまも そうだんしつ ちいき みまも かつどう しえん	1	2	3	4
制度 せいど	⑰あんしんさぽーと事業 じぎょう	1	2	3	4
	⑱成年後見制度 せいねんこうけんせいど	1	2	3	4

しせつ じぎょう せつめい べっしさんしょう
(施設や事業の説明は別紙参照)

【自立支援・重度化防止に役立つケアマネジメントについて】

自立支援・重度化防止に役立つケアマネジメントとは、高齢者の方が生活上の困りごとをサービスで補うだけでなく、将来なりたい自分やしたいことの実現を目指すために、必要なりハビリテーション等をケアプランに位置づけるケアマネジメントです。

問29

ケアマネジャーから、いつまでも地域でいきいきと生活続けることに役立つケアプランが提案された場合、そのプランに含まれるリハビリテーション等を実施してみたいですか。（○はひとつ）

1 実施したい

2 実施したくない

大阪市の高齢者施策についてのご意見・ご要望などを、次の欄に記入してください。

◎高齢者施策に関するご意見・ご要望など

調査票は以上で終わりとなります。
調査にご協力いただき、
ありがとうございました。

